

「フラテ」原稿

2015年

神経生理学分野です。今年は新しいメンバーとして、教育学院から竹谷研究員、京大医学部から稲場先生が加わり教室を賑やかにしてくれています。当教室で行われるセミナーには、連携研究センターの平田先生、小樽市医療センターの井原先生、教育学院修士1年の漆原さん、医学部3年の福田さん（医学部3年）が参加して盛り上げてくださっています。そして今年のおめでたいこととしましては、吉田先生が学位を取得されました。

当教室に少し興味のある方、知り合いがいるから覗いてみただけという方、いやいや最初から読みとおすつもりですという方も、教室員による自己紹介をお読み頂くと何かがわかる、かもしれません。早速どうぞ。

田中真樹 教授

この11月で当分野を主宰するようになって5年になりました。あっという間の5年間でしたが、この間に教室員の出入りなどもあり、思い返すといろいろありました。教授になったとき、まずは10年、と考えたことが思い出されます。与えられた状況の中、なかなか思うようにいかないこともありますが、次は飛躍の5年間にしたいと考えています。今後ともご指導ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、この1年間を振り返ると…

今春から國松助教が2年間の予定で米国 NIH に留学しました。先方のボスは私も若かりし日にお世話になった先生で、大脳基底核研究の第一人者です。一旗あげて帰還してくれることを期待しています。4月からは教育学院から竹谷研究員が正式に本研究室のメンバーとなりました。これまで約一年間、教育学院の大学院生として脳波研究をしながら当分野に通っていましたが、現在は実験動物を相手に毎日頑張っています。また、6月には吉田院生が学位を取得しました。学部生時代から研究室に出入りして、卒後は放射

線診断科と二足のわらじで頑張ってきましたが、立派な学位論文を仕上げ次に進むことができました。これからは専門の脳画像と脳機能解析を組み合わせた研究で独自の道を突き進んでくれるものと期待しています。さらに、今春からは、MD-PhD コースの鈴木（智）と理学部生物学科の亀田がそれぞれ博士、修士課程の院生となり、すでにバリバリ実験に励んでいます。また、医学科 5 年の伊藤が MD-PhD コースに進学し、保健学科の上林が卒研生として当研究室に加わることになりました。伊藤は全国規模の学会・研究会ですでにいくつかの賞をとるなど才能を発揮していますし、上林は来春から修士院生として研究を継続する予定です。10 月からは京大医学部から稲場助教が当研究室に加わることになりました。私とは十年来の知り合いですが、初めて一緒に仕事をする機会に恵まれ、当教室の研究のレベルアップと学生教育に大いに貢献してくれるものと期待しています。他にも教育学院の漆原、医学科 2 年の福田が教室のイベントに参加するようになりました。このように、今年は様々な人の出入りがありましたが、これまでのメンバーもさらに上を目指して日夜研究を続けています。私自身は今年は NIH、Janelia、MIT でトークする機会に恵まれ、夏にはメキシコ自治大学の Hugo Merchant 教授に来ていただきました。いずれメキシコを訪問するチャンスがあるのではないかと期待しています。私生活の方は、受験生がいるので基本的におとなしくしていますが、今年からサケ釣りを始めました。

國松淳 助教

今年度から研究休職をして、ワシントン DC の近くにある National Institutes of Health に留学しています。

山野辺貴信 助教

これまで登山と呼べるほどのものをしたことはなかったのですが、今年の夏ははじめて、道具をそろえ、テント泊をして、大雪山系の黒岳から旭岳のコースを縦走してきました。大雪山系というと、私は旭岳ぐらいしか知らなかったのですが、その他にも、昔の火山の火口などがあり、雄大な風景を楽しむことができました。といっても、旭岳から下山するときは、さすがに足裏にまめができ、下山後の温泉でやっと癒されるという状況でした。また、機会があればやってみたいと思っています。

Sergey Kurkin 助教

I am from Russia、 my home city is Rostov-on-Don. After I earned my PhD degree in biophysics from the USSR Academy of Science、 I worked on the computer model development for the Soviet space programs in A.B.Kogan Institute for Neurocybernetics..

Since 1995 I joined the Hokkaido University Graduate School of Medicine. I applied my skills in computer modeling and simulation to study the neural mechanisms of eye movement control. I developed the programs for 3D virtual targets presentation、 data acquisition and analysis.

My teaching duties include the lectures in Physiology and Basic Medical Biology. Also I am responsible for EEG practice for the 2nd grade medical students.

稲場直子 助教

10月から助教として着任いたしました。まだまだ公私ともにセットアップ状態ですが、このフラテが出る頃にはどちらも軌道に乗り、最初のハードルを越えられているといいなと願っています。新しい環境で何ができるか未知数ではありますが、全力でがんばりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

竹谷隆司 学術研究員

今年度から正式なメンバーとなりました、学術研究員の竹谷です。以前は視覚情報処理と脳波が専門でした。しばらくはいいスタートダッシュを切ることが目標です。このフラテが出る頃はスゴイ速度になっているよう、今を頑張ります。休日は自宅に籠って料理ばかりしています。美味しい野菜や魚介類が安く手に入るのは北海道のいいところですね。秋のスーパーはキノコと魚コーナーが充実していて、ついつい買いすぎてしまいます。そしてなんとか消費しようとすることになるので、秋は食べ過ぎに注意しないといけません。

松山圭 博士3年

大学院3年の松山です。

この原稿を書いているときは冬も迫った11月です。紅葉も終わり、全てを白に変える雪の気配がひたひたと濃厚に漂ってきています。いろいろなことが起こり、いろいろなことを考えさせられた一年でした。人生にはいろいろなことが起こるのだと実感させられた年でした。それでも時間は過ぎ去り、新しい一年がやってきます。自分の力でできることというのはわずかなものですが、それでもそれがなにかにつながることを願います。

植松明子 博士3年

今年度、新しく気づいたこともありました。そういえばいまだにクラーク博士の銅像の立って指差しているバージョンみてないです。てっきり大学構内の銅像ってあれのことだと思ってたら違った。視野を広げたいもんです。もっそ自分フィルターを少なくして色んな方向からみたら、なんかわかるかもと頑張っています。

鈴木智貴 博士2年

ひよっとすると、次はくじら味のアボカドかもしれない。

よろしくお願いします。

亀田将史 修士1年

今年から修士過程の院生として神経生理学教室で研究させていただいています。今春、同大学の理学部生物科学科を卒業しました。理学部では無脊椎動物を用いた電気生理学の研究をしていました。ここでは大脳基底核での時間情報処理について研究を始めています。頑張ります。

伊藤健史 医学科5年

5年になって臨床実習が始まり、特に忙しい科の時には実習と実験の両立に四苦八苦しんでいます。昨今の第三次人工知能ブームに乗って、シルバーウィークに「全脳アーキテク

チャハッカソン」に参加してみたところなぜか優勝し、先日フランスで行われた国際学会で発表する機会を得られました（間に合えば「学生の広場」に旅行記を書きたい…）。現段階では自分の研究テーマとはかなり離れた内容ですが、人工知能・機械学習の考え方も取り入れて研究の幅を広げられるといいなと思います（←いいからまずは論文を書け）。

お世話になっている研究室に感謝の気持ちを忘れず、2016年もがんばります。

上林菜月 保健学科4年

高校生の時、興味のあるイベントにはなんでも参加して、生き生きと輝く友達が憧れの存在でした。昨年の夏ごろ、「ここで実験がしたいです！」と勇気を出して声に出してから、卒業研究で実際に実験をしていた自分も、とても輝いていた（※いい意味で！）と思います。ひとつ成長できました。さて、今度は何をしたら輝けるかな、と模索中ですが、先輩方のまぶしい背中を道しるべにして、なんとかがんばります。

技術補助員 鈴木真理

最近、女性の先生や学生さんが増えて研究室も賑やかになってきました。元気女子のパワーをもらって、頑張りたいと思う今日この頃。最近、小学生の息子とテニスをしたりホットヨガを楽しんでいます。

技術補助員 森智子

今年は稲場先生や新しいメンバーがたくさん増え、フレッシュな気分が味わえた1年でした。みなさんを見習って、自分も新しいことに挑戦したいです。

技術補助員 弘中愛

二生理に勤務させて頂いて早いもので3年目になりました。

1年目は仕事を覚えることで精一杯で（サルの顔と名前は覚えましたが）早々と終了！2年目はルーティンワークにならないよう（忙しくされている先生や学生さんをつまえて質問攻撃をさせて頂いて）一つでも多く新しい知識とスキルを獲得することに重点を置

きました。3年目は既存の物や方法等をより質の高い物にするべく、先生や学生さん達の熱いご指導の下、日々精進し結果を出せるよう懸命に努力を続けております。

また、プライベートでもフルマラソン完走だけでは飽き足らず、ウルトラマラソン（フルマラソン以上の距離）の最高峰スパルタスロン（246km 制限時間 36 時間）のエントリー資格を得るため、100km を 10 時間半以内で完走することが目下の目標となり、100km のレースを 1 年で 2 回完走しエントリー資格まであと 21 分となりました。結果にコミットするべく日夜トレーニングと減量に勤しんでおります。

さて研究室の雰囲気はイメージして頂けましたでしょうか。皆様今年も良い一年を！
（植松）